

令和4年度 舟形町の 当初予算

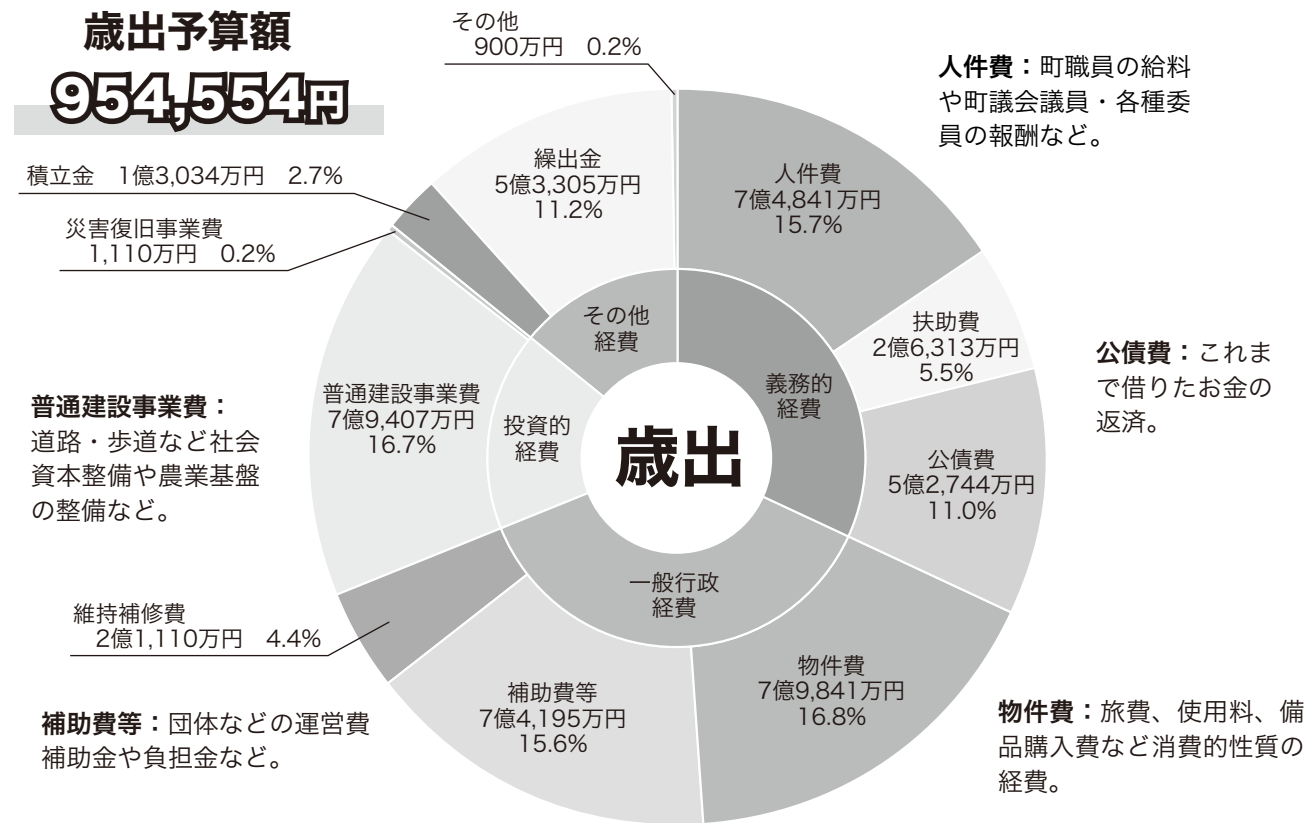
当初予算は、年度ごとに町のみなさんが安心して暮らせるための事業を見積り編成されるもので、3月の町議会定例会で議決されました。

一般会計当初予算

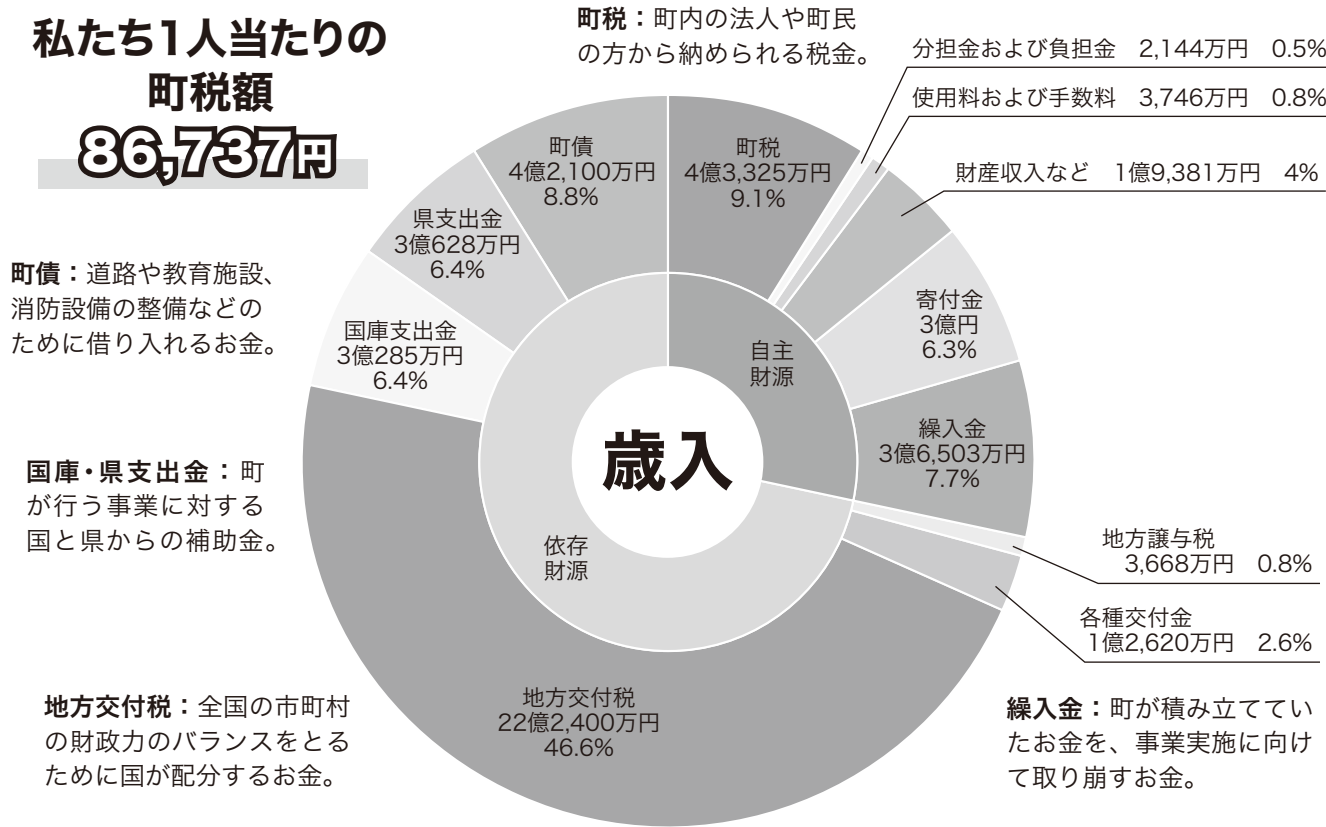
47億6,800万円

前年度比
5億1,600万円増額 (+12.1%)

私たち1人当たりの
歳出予算額
954,554円



私たち1人当たりの
町税額
86,737円



私たち1人当たりの【目的別】歳出予算額

項目	1人当たりの予算額	説明
議会費	14,316円	議会の運営に使います。
総務費	253,203円	行政全般の運営管理に使います。
民生費	158,498円	障がい者や高齢者、子育てなどの福祉に使います。
衛生費	41,297円	保健や環境・衛生の向上などに使います。
農林水産業費	84,176円	農業や林業などの振興や管理、整備に使います。
商工費	19,075円	商業や工業、観光の振興に使います。
土木費	169,291円	道路や橋、町営住宅、公園の整備などに使います。
消防費	39,774円	消防や救急、消防団の活動などに使います。
教育費	65,650円	小中学校や図書館、体育館などの管理運営に使います。
災害復旧費	3,079円	災害による被害の復旧などに使います。
公債費	105,594円	町債（町の借金）の返済に使います。
予備費	601円	緊急な対応が必要な場合に備えるお金です。

特別会計・企業会計当初予算

21億7,665万円

前年度比
69万円減額 (△0.03%)

特定の目的のために一般会計と区別して経理している会計です。舟形町には5つの特別会計と1つの企業会計があります。

会計	事業名	予算額 (伸び率)
特別会計	国民健康保険事業会計	5億8,230万円 (+2.72%)
	後期高齢者医療事業会計	7,590万円 (+2.57%)
	介護保険事業会計	7億8,670万円 (+3.55%)
	農業集落排水事業会計	2億3,620万円 (△0.30%)
	公共下水道事業会計	1億8,990万円 (△3.65%)
企業会計	水道事業会計	3億565万円 (△10.8%)

住んでいる人が誇れるまちづくり

「わくわく未来ふながた」

の実現に向けて

令和4年度は、第7次舟形町総合発展計画の3年目として、まちの将来像「住んでいる人が誇れるまちづくり『わくわく未来ふながた』」の実現に向け、「基本目標」と「重点プロジェクト」に沿って、事業に取り組んでいきます。ここでは今年度に取り組む新規事業や主要事業を紹介します。

目標1：いつまでも元気で笑顔が溢れるまち（福祉健康）

新規

人間ドック等拡充健診事業　〔613万円〕

町が実施する人間ドックのオプション健診に一定の金額を助成します。医療機関で実施する1泊2日程度の間ドック受診者に助成します。
（個人負担金5,000円）

主な事業

・新型コロナウイルスワクチン接種対策事業　〔2,376万円〕

・予防接種事業　〔1,227万円〕

・ワンコイン（500円）がん検診事業　〔949万円〕

目標2：町の「宝」を守り育てるまち（教育文化）

新規

出産支援給付金交付事業　〔234万円〕

妊婦健診、産婦健診（新規）、産後ケア、不妊治療など、母親と新生児から幼児まで幅広く支援します。また、出産に要した費用の一部を県と町で補助し、出産費用の負担軽減を図ります。

主な事業

・母子保健推進事業　〔476万円〕

・日本一の給食食育推進事業　〔687万円〕

・高校生までの医療費無料化　〔1,896万円〕

目標3：地域の魅力・活力を生み出すまち（産業経済）

新規

魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業費補助金　〔1,023万円〕

①魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業費補助金への町独自のかさ上げにより、初期投資を支援します。

②新規就農者や新たな品目の栽培を始める農業者が、認定されたマイスターのもとで行う栽培技術習得研修の経費の一部を支援します。

新規

ふるさと見守り・ワーケーション推進事業　〔1,488万円〕

既存5ヵ所のライブカメラを夜間も見られるように機能を強化し更新します。また、若あゆ温泉と長尾橋に新設し、ふるさとの情景やワーケーション地の状況を常時配信します。

主な事業

・東北農林専門職大学総合プロジェクト事業　〔4,585万円〕

・衛星を利用した舟形米ブランド化プロジェクト　〔321万円〕

第7次総合発展計画基本目標と重点プロジェクト

基本目標：6本の柱とそれを支える1つの基盤

目標1：いつまでも元気で笑顔が溢れるまち（福祉健康）

目標2：町の「宝」を守り育てるまち（教育文化）

目標3：地域の魅力・活力を生み出すまち（産業経済）

目標4：つながり、支え合うまち（地域づくり）

目標5：くらし・生命を守るまち（防災安全）

目標6：快適なくらしを叶えるまち（生活環境）

目標7：健全で持続可能な行財政運営（支える基盤）

短期アクションプラン重点プロジェクト

100歳元気プロジェクト

少子化対策子ども育成プロジェクト

定住・移住プロジェクト

デジタルファーストプロジェクト

目標4：つながり、支え合うまち（地域づくり）

地域運営組織の構築と活動支援　〔228万円〕

少子高齢化、人口減少社会において、単一の町内会では解決できない地域課題に対応するため、令和2年度に堀内地区で、令和3年度に富長地区で地域運営組織が発足しました。今年度はほかの地区での「地域運営組織」の構築を検討し、住民主体の地域づくりの推進を図ります。

主な事業

・地域おこし協力隊事業　〔427万円〕

・地域づくり総合支援事業補助金　〔250万円〕

・集落支援員事業　〔945万円〕

目標5：くらし・生命を守るまち（防災安全）

新規

寺下地区洪水対策事業　〔5,450万円〕

寺下地区の水路および準用河川夫婦川は、住宅地を通り近接する最上小国川に流れていますが、越水により周辺では以前から浸水被害が発生しています。そのため、防水用排水ポンプを整備し、内水を迅速かつ効率的に排水し、浸水被害対策を図ります。

主な事業

・鳥獣被害対策事業　〔95万円〕

・非常備消防事業　〔1億2,561万円〕

・消防施設事業　〔3,195万円〕

目標6：快適なくらしを叶えるまち（生活環境）

新規

堀内橋架替関連宅地造成事業　〔5,235万円〕

堀内小学校跡地の宅地造成を行い、若者の地元回帰につなげるとともに、ふれあいの場を整備します。

主な事業

・空き家対策事業　〔919万円〕

・公共交通事業　〔850万円〕

・孫プロジェクト事業　〔97万円〕

7 | 広報ふながた R4.3

広報ふながた R4.3 | 6